



平成 20 年度の主な事業です

町道南蔵王大橋耐震補強・館下線改良事業



・南蔵王大橋は昭和48年12月に建設された古い橋で国道113号から蔵王町へアクセスする重要な路線です。平成20年度・平成21年度で耐震補強を行います。(写真は落橋防止システムです)

・館下線南側には消防署、役場のほか開発センターや保健センター等の福祉施設が集中し、通学路でもあることから歩行者が多い路線ですが、歩道・車道が狭く冬期間は除雪が困難で歩行者が車道を利用しなければならぬ危険でした。そのため車イス同士でも交差できる歩道の改良と車道の拡幅整備を行いました。

事業費 58,918千円

定額給付金事業



景気後退下での住民の不安に対処するため、住民への生活支援を行うこと、あわせて、住民に広く給付することにより、地域の経済対策に資することを目的とし現金給付を行いました。

事業費 28,676千円

中学校耐震補強事業



宮城県沖地震の発生が高い確率で予想されているため、平成18年度に湯原小学校耐震補強、平成19年度には関小学校の耐震補強と計画的に進めてきた耐震補強事業も、平成20年度の七ヶ宿中学校耐震補強で教育施設は終了しました。

事業費 20,066千円

保育所運営事業



“みんなで育てる七ヶ宿っ子”を基本理念として、明るく元気で豊かな人間性を育むよう保育事業の充実を図り、湯原保育所・関保育所を運営しています。

事業費 48,918千円

今回は、平成20年度の決算の状況をお知らせしました。

平成19年度と比較すると建設事業などが減少した結果、決算総額も減少しています。町の財政は今のところはやや健全な状態にあります。一部では「長引く景気低迷も底はついた」とは言われていますが、自主財源である地方税は年々減少し先行きの見えない経済情勢は依然として続いています。また、経済対策と称した国の対策による多額の国債発行など、依存財源割合の高い本町にとっては、予断を許さない状況は続くものと思われます。そのためにも、今は大丈夫だからと気を緩めることなく、将来的な健全財政の維持と住民サービスの低下を招かないためにも、日常の無駄を排除し、基金への積み立てを行うなど財政基盤の構築を常に心がけていかなければなりません。

来月号では、「財政健全化法」が一昨年施行されましたので、財政指標など、将来の負担はどうなるのかなどをお知らせします。

また、七ヶ宿町のホームページには随時財政に関する情報を掲載していますのでご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.town.shichikashuku.muyagi.jp/>

七ヶ宿町の財政状況をお知らせします

みなさんから納めていただいた税金や国・県からの補助金がどのように使われているかをお知らせします。今回は、平成20年度の一般会計及び9つの特別会計の決算が9月の定例議会で認定されましたので、普通会計(一般会計・町営バス特別会計・介護サービス特別会計)を中心に概要をお知らせします。

平成20年度に普通会計において町に入ったお金(歳入)は、21億2,200万円で、町が使ったお金(歳出)は、20億6,430万円でした。前年度と比べると歳入は3,406万円の減額(マイナス1.6%)、歳出も3,746万円の減額(マイナス1.8%)となりました。

決算の状況(七ヶ宿町の家計簿)

| 歳入 | | 歳出 | |
|---------|---|---------|---|
| 地方税 | 5億7,183万円(↓) 町民税、固定資産税などみなさんから納められた税金です。(ダム交付金も含まれます) | 人件費 | 4億9,089万円(↑) 職員の給与、議会議員の報酬、共済組合の負担金などが含まれます。 |
| 地方譲与税 | 3,723万円(↓) 国税が地方に分配されます。地方譲与税、地方道路譲与税などが含まれます。 | 物件費 | 2億9,289万円(↓) 業務の委託料、旅費、電話代や郵便代、燃料費、光熱水費、消耗品費などが含まれます。 |
| 各種交付金 | 3,438万円(↓) 利子や配当にかかる税の一部を財源として一定の基準で町に交付されます。 | 補助費 | 2億8,546万円(↑) 団体への補助金、仙南広域行政事務組合や公立刈田総合病院への負担金などが含まれます。 |
| 地方交付税 | 9億4,535万円(↑) 地方税収入の少ない団体に財源を保障し、どの地域でも一定の行政サービスを提供できるよう国から交付されます。普通地方交付税と特別地方交付税があります。 | 扶助費 | 3,093万円(↓) 法令に基づいた児童手当などの支給や各種扶助のための費用です。 |
| 使用料・手数料 | 3,432万円(↓) 町の施設を利用した場合の利用料金などです。町営バスの使用料、保育所の負担金などが含まれます。 | 普通建設事業費 | 1億7,924万円(↓) 町道の改良工事や、住宅建設、中学校の耐震補強工事などです。 |
| 国庫支出金 | 1億588万円(↓) 国から特定の目的のために支出されるお金です。 | 積立金 | 1億672万円(↑) 町の貯金です。財源不足を生じた時の蓄えとしての財政調整基金などの積み立てです。 |
| 県支出金 | 5,994万円(↓) 県から特定の目的のために支出されるお金です。 | 出資金・貸付金 | 4,204万円(↑) 民間等に対し必要な資金の貸し付けを行っています。 |
| 繰入金 | 7,927万円(↑) 財源不足を補うため基金などから補っています。 | 繰出金 | 3億3,003万円(↑) 国民健康保険、診療所、簡易水道、公共下水道などの特別会計に対する繰出金です。 |
| 繰越金 | 1,930万円(↓) 前年度から持ち越したお金です。 | 公債費 | 3億610万円(↓) 事業で借入した借入金の返済金です。 |
| 地方債 | 1億3,268万円(↓) 町が財源を確保するために行う借り入れです。 | 合計 | 20億6,430万円(↓) |
| その他 | 1億182万円(↑) その他の収入です。雪害による森林保険料などが含まれます。 | | |
| 合計 | 21億2,200万円(↓) | | |

歳入から歳出を差し引いた実質収支は…
5,770万円の黒字となりました。

※()内の矢印は、平成19年度決算と比較しての増減を表しています。